

# 梅の里



第 10 号  
令和 2 年 12 月 25 日  
文責：教頭 草間  
TEL 85-2007

## 校内公開授業の様子から



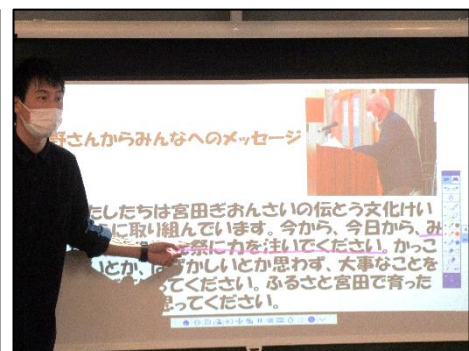
### 2 年生 国語「おもちゃの作り方を説明しよう」

体験したことを生かして文章を順序だてて書いたり、見出しの工夫をしたりしながら、説明する文章を考えました。iPadや付箋を使い、実際に作ったおもちゃを手に取りながら、どうやったら 1 年生にもわかりやすいおもちゃの作り方の説明書になるのか、お互いに考え合いました。



### 3 年生 社会「火事からくらしを守る」

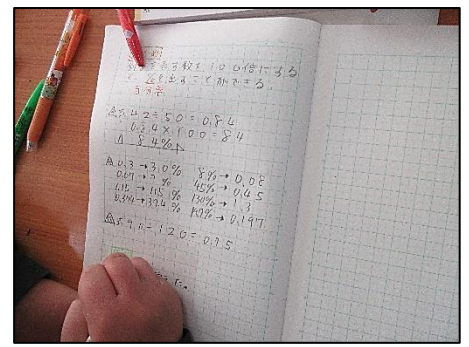
自分の仕事もあるのに、地域の安全のために活動をしている消防団について学習を深めました。実際の団員の方のお話をお聞きして、「大好きな宮田村のため」「村民の命や財産を守りたい」という思いに気づくことができました。



### 4 年生 社会「残したいもの 伝えたいもの」

宮田の祇園祭はなぜ昔ながらのやり方で受け継がれてきたのだろう？ 祭典委員の方のお話をお聞きしたりすることを通して「宮田の人の努力で伝統が守られてきたこと」「伝統を引き継ぐとはどういうことか」を考え合いました。





### 5年生 算数「割合」

0.7 倍は 70% のことである…。割合の問題から、子どもたちにとっても身近な「%」について考えました。「110% なんてあるの?」「果汁 125% ジュースって存在する?」「50% って半額のこと?」子どもたちからは様々な疑問も出てきました。



十一月十七日にマラソン大会が行われました。  
保護者の皆様からの応援、と同時に安全面でも本当にお世話になりました。当日の結果に一喜一憂せず、自分の目標に向かって走った練習の積み重ねを自分の宝としてください。



今年度のクラブ活動が終わりました。例年のように地域講師の方をたくさん呼び寄せることはできませんでした。が、子どもたちにとっては自分の好きなことにチャレンジできる時間となりました。

English Challenge Day が行われました。規模を縮小しましたが、自分から英語で話しかけたり、英語で自己紹介したりという光景が校内のあちらこちらで見られました。言語を通してコミュニケーションをとる、このコミュニケーションの部分がとても大事なんだということに改めて気づく1日になりました。



オリンピック・パラリンピック学習 (6年)  
「人を大切にする事」「プラス思考で考えること」  
前田さんから大切なことを教えていただきました。



ブレイブウォリアーズのバスケット教室(3年)  
さすが日本代表候補! 子どもたちが嬉々としてボールと一緒に楽しんでいる姿が見られました。



### 焼き芋会(1年生と6年生)

6年生にたっぷり遊んでもらい、1年生は大満足です。いつもお世話になっていることから、6年生に向けてお礼をするそうですよ。

残念ながら中止になってしまった行事もあります。感染防止対策を講じた上で、できることをしていきます。



# 児童会フェスティバル 12/16

コロナ禍において、例年のような児童会フェスティバルができるのだろうか？ 高学年が全校のためを考えて企画運営するという大切な機会を何とか実行できないだろうか？ そんな話し合いを職員の中でも繰り返してきました。6年生にもたくさんのアイデアを出してもらい、「密にならないように考えられることをすべてやる」「消毒の機会をできるだけとる」「全校で集まらないように放送などを利用する」ことで行うことができました。

「6年生はいつ準備をしていたんだらう。僕たちが休み時間に遊んでいる時にやっていたのかな」

「来年は私たちがやるんだと思うと不安。でも今年の6年生みたいにがんばりたい」

そうやって、6年生のことをしっかり見ていた下級生(特に5年生)。ひたすら全校のことを考えて行動してくれた6年生。

「自分を好きになり」「他人を好きになり」「宮田を好きになる」素敵な児童会フェスティバルになりました。





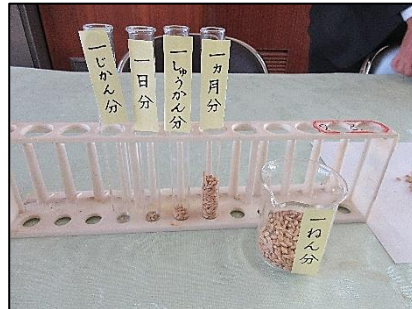
## 「努力の積み重ねをしてきた二学期」 二学期終業式 校長先生のお話より

2学期の始業式では、1分60秒、1時間60分、1日24時間  $60 \times 60 \times 24 = 86400$  秒という貯めておくことができない限られた時間を大事に使ってほしい、そうすればもっと「自分を好きになり 他人を好きになり 宮田を好きになる」ということを話しました。

(中略)

新型コロナウイルスのために、運動会や臨海学習、修学旅行など大きな影響がありました。でも皆さんが時間を上手に使ったために、大きな成果をあげることができたと思います。各学年では、たくさんの野菜を収穫し、5年生はお米作りに挑戦しました。およそ80kgの収穫があったそうです。今日はこのお米をもとに、「努力の積み重ねの上に今がある」ということをお話します。

みなさんの中で米一粒の重さを感じたことがある人はいますか？ およそ0.015gくらいです。1円玉を60個に分けたくらいの重さです。この小さな粒が集まって5年生が収穫した80kg、重たくて持てないほどになります。でも急に80kgになったわけではなく、植えた稲が少しずつ成長し、夏に花が咲き、その後、コメとして、これも少しずつ実っていったのです。これは皆さんのこれまでの成長と同じだなと思います。



【1人が1時間に身に付けた知識を米粒1つとすると…】

授業1時間分・・・1粒  
1日分(6時間として)・・・6粒  
1週間分(5日として)・・・30粒  
1か月分(20日登校として)・・・120粒  
1年間分(約200日登校として)・・・？粒  
(計算してみてくださいね)

これだけの努力＝身につけた知識が貯まりました。これは1人分ですが、クラスは30人いるので、これが30個分貯まります。1時間の努力が1粒ではなく、2粒、3粒なら、この数はもっと増えるし、単純な足し算ではなく掛け算になることもあるので、もっと増えることもあります。また、努力しているのは授業だけではなくありません。皆さんは休みの日もたくさんの努力をしています。

「塵も積もれば山となる」という言葉もありますが、小さな努力の積み重ねのうえに今があると言ってもいいでしょう。小さな努力をバカにしてはいけないということを強く感じます。

1年生の様子を書いたお便りにこんなことがありました。

「1学期、読書で手に取るのは90%以上が図鑑でした。写真や絵を眺めて、みんなで話して楽しんでいました。でも、この読書旬間中は、ほとんどの子がお話を読んでいます。ひらがな・カタカナを覚え、さらには漢字も少し勉強して、一人で読める、一人でも読みたいという気持ちになったんですね。成長を感じます」

1年生だけでなく、全校のみんながこの2学期に何かができるようになるためにたくさんの努力を重ねてきました。そして、「自分を好きになる 他人を好きになる 宮田を好きになる」2学期になったと思います。「宮小家族」にとって、すばらしい2学期になりました。

年末年始の休み、家族で、今年努力したこと、来年頑張りたいことを、ぜひ話し合ってみてください。

1月7日には元気に登校しましょう。よい年を迎えてください。



三浦木工さんより学校に門松を贈呈していただきました

### 【新型コロナウイルスの対応について】

年末年始、今まで以上に感染防止対策をしていく必要があります。もはや県内だから安全であるということも言えない状況になってきています。不要不急の外出はできるだけ控え、手洗い・マスク着用・三密を避ける等、当初から言われてきていることを、この冬休みにも継続していきましょう。以前お配りしたフローチャートより、学校に連絡が必要な場合を記しておきます。

①本人の体調が悪い → 受診 → PCR検査を受ける → 陽性 → **連絡**

②家族の体調が悪い → 受診 → PCR検査を受ける → 陽性 → 濃厚接触者である → **連絡**

いずれも、陰性の場合、連絡の必要はありません。また父母の職場で陽性者が出た場合や子どものスポーツ団体の中で陽性者が出た場合などは、プリントをご覧ください。

連絡先 ①学校 85-2007 ②教育委員会 85-2314 ③学校緊急携帯(教頭所持) 080-7693-3032

★12月と1月の健康チェックカード、両方を1月7日の始業式に提出してください。